

# 活動成果報告書

平成25年度（第17回）「チヨダ地域保健推進賞」

## 活動テーマ

思春期精神保健の早期支援ネットワークの取り組み

～教育委員会、精神科医療機関、保健所による協働～

応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名）

四日市早期支援ネットワーク YESnet (イエスネット)

代表者：井倉 一政

勤務先：四日市市保健所

所 属：保健予防課

所在地：〒512-0922

三重県四日市市諏訪町2番2号

T E L : 0 5 9 - 3 5 2 - 0 5 9 6

F A X : 0 5 9 - 3 5 1 - 3 3 0 4

E-Mail : hokenyobou@city.yokkaichi.mie.jp



## ◇活動方針

不登校、引きこもりなどの中学生には、こころの病気を抱える生徒もおり、その保護者の理解の程度が低かったり、教職員による支援にも限界や行き詰まりがあったりする実態が見受けられる。そのような子どもたちが青年期、壮年期になっても、社会性が乏しかったり、保護者を従属させたりして問題が顕在化し、ようやく保健所が関わることができても、受診勧奨も聞き入れない状況が見られていた。

このような実情に対し、平成21年には、四日市市保健所主催で「精神疾患の疑いのある子どもへの早期支援・介入」をテーマに教育関係者・医療関係者と勉強会を始め、教育委員会、精神科医療機関、保健所で構成する「四日市早期支援ネットワーク：Yokkaichi Early intervention Service network（通称YESnet）」を創設するに至った（図1）。このYESnetでは、課題や状況に応じ、精神科医師による思春期相談、ネットワークによるケア会議、生徒に対するこころの健康づくり教育、教職員等への啓発や研修などに取り組んでいる。

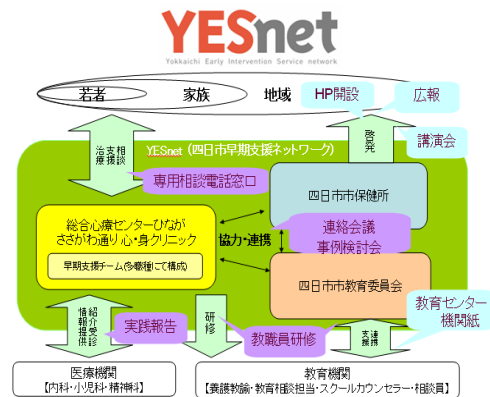


図1 YESnetの取り組み概略

# 活動成果報告書

## ◇活動内容

### ①連絡会議兼事例検討会（毎月1回）

教育委員会（教育支援課・指導課・学校教育課・適応指導教室）、医療機関、保健所の担当者が集まり、事業の企画・運営について話し合った。不登校チェックシートの検討を行い、小中学校で活用できる方法を検討した。また、学校からの要望に応じて、学校の担任等が参加し、事例検討を行った。

### ②合同会議（年数回）

各機関の責任者等と担当が一同に会して、<sup>イエスネット</sup>の取り組みについて、情報共有を図っている。

### ③生徒対象の出前授業

学校からの求めに応じて「ストレスをぶっ飛ばせ」と題して、こころの健康やストレスについての講義と、ストレッチ・音楽療法・呼吸法などの実技を体験する出前授業を生徒に実施した（平成24年度実績4校565名）。

### ④教職員向け出前研修（図2）

各機関の担当者が、学校へ出向き、精神保健医療に関する講義を実施した。また、学校で困っている事例について、インシデントプロセス法を用いて、事例検討を行った（平成24年度実績4校）。



図2 出前研修で教職員が学びの発表をする様子

### ⑤相談対応

各関係機関が把握したケースについて、医療的な支援が必要と思われる事例については、可能な限り関係機関で情報共有し、情報集約した。必要に応じて、医療につながった後も、子どもの養育環境の調整として、教職員へのアドバイスを実施した。

### ⑥思春期専門相談

保健所において、精神科医が思春期精神保健相談を行った。家族等の相談に応じ、医療受診の補完機能を担っている。

### ⑦教職員等専門家研修

教育相談担当者研修・養護教諭研修会・校長会・教頭会など教職員向けの研修会を実施している。また、小児科医・精神科医の会合においても事業報告を行った。

### ⑧普及啓発事業

生徒・家族・教職員・市民・専門家等各段階に応じて、正しい知識の普及を図るためのクリアファイルの配布（図3）、ポスターの掲示、絵本配布、市広報、学会等での発表などを実施している。



図3 啓発用クリアファイル

# 活動成果報告書

## ◇今後の計画

本事業では、現在も継続して可能な限りさまざまな切り口で、思春期精神保健に関する正しい知識の伝達を実現しようと試みている。このネットワークの広がり、四日市市に新たな社会資源を作り出し、ひいては地域貢献・社会貢献にもつながるものと考えられ、活動の意義は大きい。今後の課題と計画については、以下の通りである。

### ①活動資金の持続的獲得

当初は活動資金について課題があると考えられたが、光をそそぐ交付金や三重県自殺対策緊急強化基金に申し込み、採択されることになった。継続して本事業を推進していくためには、財政的基盤を整える必要があり、今後においてもさまざまな機会を活用していく予定である。

### ②高等学校との連携推進

YESnet<sup>イエスネット</sup>事業において、教育機関の参画は、四日市市教育委員会であり、その所管は小学校と中学校である。高等学校の教育関係者については、YESnet<sup>イエスネット</sup>の事業説明などを通じて、校長や養護教諭と顔の見える関係を構築することに務めた。その結果、個別の事例では直接保健所に、教職員から相談いただく機会もあり、連携・協働することが出来た。今後も高等学校の関係者とは、密に連携をとりながら、必要に応じて、事業の実施に協力を得ていく必要があると考えられる。

### ③出前授業のプログラムの充実

これまでのところ出前講座として生徒に健康教育を行っているのは、中学1年生～3年生であるが、小学校の児童を対象とした出前講座の実施要望が見られる。現在、その専用のプログラムを検討し、提供できる出前講座のメニューの充実を試みている。小学生向けには、平成26年度から汎用性のあるプログラムを実施する予定である。

四日市におけるYESnet<sup>イエスネット</sup>の活動の推進を契機として、今後は全国各地に、それぞれの地域の実情に応じた「思春期早期支援ネットワーク」が出来ることを願っている。今後、さまざまな機会を捉え、四日市での取り組みを積極的に発信していくことが我々の使命であると感じている。

以上